

第3回町議会定例会

平成30年第3回町議会定例会が、9月7日に開かれ、14日に閉会しました。この町議会定例会では、木幡町長の行政報告のあと、議案9件、認定8件、同意1件、諮問1件、報告2件について審議しました。主な内容は、次のとおりです。



◆長万部町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費給付条例の一部を改正する条例

医療費給付の対象となる重度の知的障害の定義を明確化するため、条例の一部改正を行うものです。

◆長万部町乳幼児等に対する医療費給付条例の一部を改正する条例

子育て支援を目的として、医療費給付の対象者を満十五歳から満十八歳に拡大するため、条例の一部改正を行うもの。

◆公有水面埋立について

公有水面埋立法の規定により議会の議決を求めらるる埋立地 字旭浜二〇三番地先の公有水面

面積 一〇一七・八六㎡

埋立地の用途 漁港施設用地

◆平成二十九年度長万部町水道事業会計剰余金の処分に

ついて

平成二十九年度の長万部町水道事業会計未処分利益剰余金一千三百七十一万二千八百八十五円のうち五百二十万円を組入資本金として処分することについて、議会の議決を求めるものです。

◆一般会計補正予算(第四号)

平成三十年度一般会計予算の歳入歳出それぞれ三億百五十三万八千円を追加し、予算総額五十億四千八百四十四万二千五百四十四円四千四百四十四円となりまし。

補正のおもなものは、歳入が地方交付税や繰越金などの

追加、歳出は、積立金や病院事業会計繰出金などの追加です。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

平成三十年度国民健康保険特別会計予算の歳入歳出それぞれ二千二百六十六万三千円を追加し、予算総額九億八千六百八十四千円となりました。

◆介護保険特別会計補正予算(第一号)

平成三十年度介護保険特別会計予算の歳入歳出それぞれ三千五百七十五万四千円を追加し、予算総額八億八百五十七万七千円となりました。

◆病院事業会計補正予算(第二号)

平成三十年度病院道事業会計予算の収益的収入に百万円を追加し、予算総額六億六千八百八十七万円に、収益的支出に四万九千円を減額し、予算総額六億六千三百一十千円に、資本的支出に二十六万一千円を追加し予算総額一千三百二十二万三千円となりました。

◆一般会計補正予算(第五号)

平成三十年度一般会計予算の歳入歳出それぞれ四百九万六千円を追加し、予算総額五十億五千二百五十三万八千円となりました。

補正のおもなものは、歳入

が農林水産業費道補助金などの追加、歳出は、林業振興費などの追加です。

木幡町長の行政報告

=平成30年9月7日=

財政関係

本年度の普通交付税交付額は、七月二十四日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額二十七億二千六百六十一万六千円から基準財政収入額六億五千二百四十四万一千円、調整額二百六十四万七千円を控除した二十億七千二百七十三万五千円が交付額となり、前年度と比較し、三・六パーセント、七千六百五十九万三千円の減額となりました。

東京理科大学関係

本年七月末に決定した東京理科大学の学部・学科の再編に伴う長万部キャンパスの今後の活用方針につきましては、既に第三回臨時会でご報告しておりますが、現在の基礎工字部の全寮制での初年次教育は、二〇二〇年度で終了し葛飾キャンパスでの四年間の一貫教育となり、代わりに二〇二一年度から経営学部の一部を対象とした国際教育としての初年次教育を開始するとともに、二〇二二年度からはこれに加え、留学生の初年次教育を開始し、順次学生数の拡大を検討していくことになりました。

学部・学科は変わりますが、長万部キャンパスでの全寮制による教育を継続していくというのでありますので、引き続き理科大が長万部キャンパスを有効に活用できるように協力してまいります。本町と大学との地方創生連携事業である再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクトの平成三十年度事業につきましては、トマトハウスを一棟増設

する工事を民間資本により十月末までの完了予定となっており、併せて生産・収穫・出荷・調整・運送・販売までのラインを整備するとともに、管理体制の確立を優先して取り組んでいるところであります。

また、現在一棟目のハウスで栽培しているトマトが、九月初旬にも出荷可能となる見込みとなっており、今年度の地方創生推進交付金が既に四月に交付決定されておりますが、本交付金はソフト事業へ充当するものとなっていることから、ブランディング・プロモーションと併せて販路拡大や大学との共同研究などで活用するべく準備が進められているところであります。

今後も引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

地域交通 対策関係

昨年から豊津地区では、JR北豊津駅の廃駅に伴い、函館バスの函館・長万部線の路線変更をお願いし、地域住民の交通利便性を維持していただいておりますが、町道豊津二号線から国道五号線を長万

部方面へ左折する際、国道の中央分離帯が支障となるため、バスが大きく膨らむ必要がありました。

この箇所の改善について、函館開発建設部へ要望をしたところ、カーブに沿って設置されているガードレールを外側へ移設する改善工事により対応していただき、移設工事は七月末に完了したところであります。

また、舗装が劣化していた国道二二〇号線茶屋川地区の延長三千七百九十メートル区間についても、補修工事が完了し快適に走行できるように対応していただいたところであります。

引き続き、町内での円滑な交通環境を維持するため、各方面へ要望してまいります。

都市計画 マスタープラン

「長万部都市計画マスタープラン」については、平成十六年三月に当町が目指す都市づくりの目標や将来像として、第一次計画を策定したところ

でありましたが、この間の我が国の社会状況の変化や、十二年後の新幹線開業に伴い我が町の都市計画が大きく変化す

ることが見込まれることから、当初計画の見直しを検討する必要があります。

また、都市計画決定にあたっては、新たに「立地適正化計画」を策定し、都市機能の集約及び住居誘導する区域を検討する必要性が生じております。

このため、新たな都市計画決定を目標とし、関連する各種計画の策定について取り組みを進めてまいります。

具体的な時期については、都市計画決定との整合が必要となる、北海道が策定する都市計画区域マスタープランについて、長万部区域の見直し

が平成三十二年度末に予定されていることから、都市計画マスタープランの策定を平成三十一年度末まで、引き続き立地適正化計画の策定を平成三十二年度末までを目標とし、新たな都市計画の決定を四年後の平成三十四年度中を目途に行う予定として取り組んでまいります。

これに伴い、まずは先日、長万部都市計画マスタープラン等改訂業務委託を発注し、八月二十日に契約締結したところであり、平成三十一年度までの二カ年にわたり計画策定に必要な調査と検討を進め

てまいります。

長万部まちづくり 推進会議

長万部まちづくり推進会議については、平成二十八年度に委嘱された委員二十二名の任期満了に伴い、新たに一般公募を含めた委員二十四名の、九月中旬の委嘱に向けた準備を進めているところであります。

今後も、都市計画マスタープランをはじめとして、新幹線を核としたまちづくりや地方創生の推進について、引き続き検討や協議を進めていただき、様々な取り組みを着実に進めてまいります。

地域おこし 協力隊

地域おこし協力隊につきましては、昨年の九月より新規就農の足がかりとして農業支援員の新規採用を募集しておりましたが、本年三月に一名の応募があり、面接試験を実施するとともに、適性などを総合的に勘案した結果、六月から採用し、農業支援を中心とした業務に従事しております。

引き続き、従前より活躍中の三名を含めて、本町の貴重な戦力として、地域おこし協力隊員の活動がスムーズに行われるよう、積極的な支援を展開してまいりたいと考えております。

乳幼児等医療費 給付関係

子育て支援を目的とした高校生までの医療費無料化については、本年十二月から乳幼児等に対する医療費給付の拡大について実施する予定で、本定例会に条例の一部改正及び補正予算を提案いたしております。

介護保険 事業関係

平成三十年から平成三十二年までを計画期間とする第七期介護保険事業計画において、増加する認知症の方や住み慣れた地域での生活を希望する方々へ対応するため、認知症型共同生活介護事業所（グループホーム）一ユニット九床の新たな整備を見込んでおりましたが、公募の結果、株式会社鈴木総合サービスから応募があり、要件が整って

いたことから、長万部町高齢者介護・保健福祉推進委員会の意見を踏まえ、五月三十日付けで設置者として選定いたしました。

事業所は十月初旬の運用開始を目指しており、今後は所定の時期に指定申請を行っていただき、地域密着型サービス事業者の指定を行う運びとなります。

農業関係

家畜の主たる飼料作物の牧草は、八月十五日現在の生育状況調査では、二番草収穫作業が順調に推移しており、サイレージ用とうもろこしの生育状況は、七月の長雨による影響で、例年に比べやや遅れぎみに推移しております。

生乳生産量は一月から七月末日まで五千八百九トンを出荷し、前年に比べ四十七トンの減となり、乳代は五億二千九百五十七万円で、前年に比べ百三十三万円の増となっております。

黒毛和牛の一月から七月までの販売頭数は百五十九頭、販売金額は一億九百五十二万円となっております、前年同期と比較して販売頭数は同じで、

販売金額は一千六十八万円の減となりました。

また、インターファーム株式会社社の「長万部ちらい農場」につきましては、全体工事が完了し、母豚の導入や出荷を開始しております。

林業関係

町有林一般造林事業下刈事業の共立地区一七ヘクタール、静狩地区一七・〇五ヘクタールは七月三十一日に完了し、春植分の共立地区三ヘクタールについても、七月三十一日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津・豊野地区一八・九六ヘクタールを、七月十一日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、六月九日に着手しております。

有害鳥獣駆除対策

今年もヒグマやキツネ、エゾシカなどの出没が相次いでいる状況であります、鳥獣被害防止対策協議会と連携

し、今後もヒグマなどの有害鳥獣による人畜及び農林業等への被害を防止し、住民の生活安全を図ってまいります。

漁業関係

漁業関係全体の一月から七月末までの水揚げ実績は、約四十一億円と前年同期と比較し、約十三億円ほど増加しております。

このうち、ホタテ貝の生産量は一万四千三百三十三トンで、前年同期と比較し約七千七百二十四トン増加しております、水揚げ実績では約十三億円の増となっております。ホタテ貝の生産量が増加した要因として、一昨年から記録的な成育不良や弊死、更には台風等による時化の影響があり、生産量が大きく減少しておりましたが、今年一月以降はそれらの影響が少なかったためと考えられております。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、六月から投入した採苗機には、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となります。

ますので、各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

今年度より長万部漁業協同組合では、近年、変動の大きい生産状況となっているホタテ貝養殖漁業の安定化を図るため、新たに仮分散後の大きめの種苗を試験的に管外より移入する事業計画を、本年十月以降全ホタテ養殖漁家を対象に行うこととし、従来の移入方法よりも経費が増大となることを踏まえ、町へもその費用の一部を補助要望がありましたので、今定例会へ補正予算を提案しております。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した長万部漁港及び国縫漁港の保全工事は、現在、調査設計を行っており、来年度から工事が施工開始される予定となっております。また、長万部漁港の防砂堤新設工事に加え、今年度より静狩漁港にも防砂堤新設工事が施工される予定となっております。同じく、北海道が事業主体となり、漁村再生交付金事業にて行う国縫漁港内の用地改良及び船揚場改良工事等についても平成三十二年度完成に向けて、今年度より施工が開始される予定となっております。

ります。

近年、噴火湾海域で大量発生しているザラボヤ等の附着物は、今年も七月頃から長万部町海域でホタテ貝養殖桁へ附着しているのが確認されており、付着時期及び付着量も例年並みとなっております。

商工観光関係

本町の商工観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、六月三十一日、七月一日の開催となりました。雨がちらつく中、町民はもとより、町外からも大勢の来場があり、約二万人の来場を頂き、お宝もちまき、毛がに早食い競争をはじめとする各種イベントで大いに盛り上がりました。販売用毛がにの数量確保は、関係機関と検討を重ね、毛がに格安販売を日曜日のみとする事で、販売数量を確保することができました。

本年度、新たに長万部商工会では、商工会員の経営の安定化や経営の改善等を図るため、商工業者経営改善等支援事業要領を策定し、町へもその費用の補助要望がありまし

た。また、近年のフィッシュングブームの中、長万部フィッシングカップについては町外からも多数の参加があり、参加者の増による町内への経済効果も年々大きくなっていることから、事業の定着に向けた事業費の一部を補助するため、今定例会へ補正予算を提案しております。

長万部駅舎内に設置されております観光案内所では、長万部町を訪れる多くの観光客のみなさんへの町内観光地の情報提供、長万部温泉、二股ラジウム温泉の案内、飲食店や販売店の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに特産品の販売を行っております。

合宿誘致事業は、長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおり、今年度四月から中学・高校の約一〇〇の団体が、剣道・柔道・バスケットボールなど多岐にわたり合宿を行い、延べ約三千人の方が宿泊されました。八月十日に飯生神社で開催された祭典事業につきましては、時折雨が混じる天候ではあったものの大勢の観客が集まり、二千五百発の花火をはじめ、キッズダンスサークルの子どもたちや、北大よさこいチーム「縁」、室蘭の「百

花繚蘭」のみなさんの熱気により会場は大変盛り上がりました。

建設関係

建築事業では、町営住宅シスターハウジング緊急通報システム更新施設設計業務委託は、七月三十一日に完了いたしました。緊急通報システムは入居者の生命と安全に関わる機器であることから、引き続き機器更新に係る費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

また、町営住宅中部団地非常灯交換工事は六月十二日に、同じく中部団地の安全柵修理工事は七月十一日に完成いたしました。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

土木事業では、今年度実施の町道本町一号线道路改良工事につきましては、平成三十一年一月二十一日までの工期で実施中でありま。なお、工事にあたっては、通行車両や沿線店舗等の出入りに十分配慮して進めてまいります。また、この工事による振動等がもたらす影響の有無を把握

するため、周辺家屋に対しての調査を実施しております。

また、平成三十年七月五日に発生した大雨の影響で、共立地区の町道浅見線の路肩が延長約四十五メートルにわたりに崩壊し、更に、豊津地区の普通河川ロクツ川の左岸も延長約三十五メートルにわたりに崩壊いたしました。これらに係る復旧工事の費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

また、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する、長万部中央跨線橋修繕調査設計業務については、平成三十一年二月二十八日までの期間で、JR北海道と協議連携をとりながら、調査作業を進めてまいります。同じく、国の交付金を活用する橋梁長寿命化のための、静狩五号橋修繕工事を十二月十九日までの工期で発注いたしました。道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事、その他の道路維持作業について、計画的に実施中でありま

ガス事業

ガス本支管改良工事の本町

一・三号線工区は、七月三十日に完了しております。

また、同工事の中山大通線工区及び北三号線工区は、十月三十一日まで、南三号線工区及び電気防食工区試掘調査は、十一月三十日までの工期とし、それぞれ順調に施工中であります。

公共下水道事業

終末処理場内処理水給水ユニット外修繕工事及び下水道マンホール蓋交換修繕外工事は、それぞれ十一月二十日までの工期で施工中であります。

病院事業

本年五月より病院事業検討協議会において、病院の今後の在り方を協議しており、年度末まで協議を重ねてまいります。

今後とも、町民のみなさんの健康維持と健全経営に向けての病院運営を行ってまいります。

なお、本定例会に一般会計からの繰入金金の追加と調理室機器購入に係る補正予算を提案いたしております。

消防関係

今年八月二十七日現在の火災件数は二件で、うち建物火災が一件、野火が一件となっております。

救急件数は百九十九件、搬送人員は百九十二人で、急病が百十一件、交通事故が八件、一般負傷が十七件、その他転院搬送などが六十三件で、うち、ドクターヘリによる搬送は七件となっており、前年同期と比較し救急件数が二十二件減少しております。

八月四日、消防庁舎敷地において、消防団や危険物安全協会、社会を明るくする運動推進委員会の協力のもと、「おしゃまんべ消防フェス2018」を開催し、町内外から約二百二十名の参加者が、消防車の体験乗車や消火器の操作、応急手当などを体験されました。

消防団員安全装備品整備事業は、七月三十一日に火災現場や捜索活動用の安全靴が納品され、百十一名の基本団員に貸与いたしました。